

教職員養成・育成だより 第58号



令和4年1月7日発行
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

「アイ・カレッジ」塾生 学び、高め合っています

よこはま教師塾「アイ・カレッジ」では、現在77名の塾生が学び、互いを高め合っています。感染症対策を講じながら、これまでに3回の講座を対面でも実施することができました。それぞれの回でどのような学びや成長が見られたのかをお伝えします。



10月31日「やっと会えましたね！」

これまでの講座は全てオンラインで実施していたため、10月31日は緊張よりも初めて対面できた喜びや嬉しさをかみしめている塾生の姿が見られました。オンライン上で討議を重ねてきましたが、それを生かして対面でも司会を立てたり、タイムマネジメントしたりしながら、テーマに沿った討議をしっかりと行うことができました。この日は、目標設定の仕方、授業づくりについて学ぶとともに、副塾長 小原 健人教職員育成課長の講話を聞き、教師という仕事の魅力、やりがい、責任について改めて見つめ直しました。



11月28日「子ども一人ひとりに寄り添うってどういうこと？」

この日の講座では仏向小学校 冢田 三枝子校長先生を講師としてお招きし、特別支援教育への理解を深めました。子どもに寄り添うとはどういうことかを考えるとともに、塾生は、発達に課題のある子どもの気持ちを受けとめることの大切さに気付きました。講座終了後のレポートには、「アシスタントティーチャーとして子どもと関わる際、もしかしたら子どもの心を傷つけていたかもしれない」、「『できる』か『できないか』だけでなく、取り組む過程をしっかりと見つめていきたい」等の記述がありました。



12月26日「体験するって大切だね！」

スタンダード講座は、対面ではなくは学べないことにこだわってカリキュラムを編成し直しました。この日の講座は、横浜学校カウンセリング研究会の会員を講師として、「傾聴」について学びました。話し手・聴き手それぞれの役割をロールプレイング演習として体験し、相手に寄り添った話の聴き方について見つめ直しました。また、作成した学習指導案に基づいて、模擬授業を実践する講座もありました。想定した授業展開にならなかった塾生、児童生徒役にうまく切り返せなかった塾生等、様々なつぶやきが聞こえてきましたが、これも実際にやってみることができたからこそ捉えることができたとも言えます。見つかった課題の克服に向けて来月以降も学びを着実に積み重ねていきます。

現在KTP(教師体験プログラム)として、多くの学校に塾生を受け入れていただき、貴重な学びの場の御提供をありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。

東高校の生徒とワークショップを実施

横浜市立東高校は、ユネスコスクール加盟校として、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進しています。具体的な取組として、ESDやSDGsに対する理解を深める場としての講演会やワークショップの開催、生徒のボランティア報告会などを実施してきました。こうした取組の一環として、平成30年度から横浜市立東高校とYMBL(横浜メディアビジネス総研)との共催にて、同校在籍の1年生及び2年生を対象として、社会貢献活動を実践する企業や団体等の活動をプレゼンテーションする機会(イーストタイム プレミア プログラム)を設けており、今年度は令和3年12月21日に実施されました。

教職員育成課は、本プログラムに毎年参加し、教育について高校生と考える機会を設けてきました。全34の企業・団体が参加する中で、今年度は「先生の持続可能な働き方を高校生目線で考えてみよう」というテーマでワークショップを行い、40名を超える生徒が参加しました。横浜市の教員の働き方に関する課題解決に向けた取組を紹介し、それについて意見交換する場面では、高校生として期待する教員のよりよい働き方について、具体的に語り合いました。日々接している教員を、自分たちにとって最も身近な社会人として捉えていた姿が印象的でした。

ワークショップのまとめとして、動画「先生になりたい」のダイジェストを視聴しました。東高校の卒業生である「みさきさん」が高校3年生の時に小学校で教師体験を行い、子どもとの触れ合い、教員との関わりを通して、教師という仕事の魅力ややりがいを感じ取っていく内容です。先輩が登場する動画を視聴し、やりがいをもって働くことの大切さを高校生も実感したようです。参加した生徒の声を一部紹介します。

- 教員の仕事はやりがいを感じると思うし、どんなに辛くても乗り越えられるのかなと思ってたし、実際そう思っている先生方も多いことが分かりました。しかし、それだけでは持続可能とは言えないこともよく分かりました。私は中学校、高校の、日々やりがいを感じながら笑顔で接して下さる先生方を見て、自分も先生になりたいと思うようになりました。子どもたちのためにもよりよい働き方を目指して、自分の人生も、教師としての人生もどちらも大事にできる先生が増えていくといいです。
- 実際に先生方が自分たちの働き方についてどのように考えているのか、そしてどのような取組を通して課題解決を図っているのかということ、自分はほとんど考えたことがなかったので、今日はとてもよい機会になりました。先生にはいつも元気で、やりがいをもって働き続けてほしいと思いました。

動画「先生になりたい」(全18分)「横浜市 高校生・大学生向けWebページ」に、広報用Youtubeとして掲載しています。



再生回数15000回を超えました!

